

長池の“ここ”、
みんなで
会ってみませんか

長池駅前公用地活用検討 ワークショップニュース

Workshop news

Vol.
03
2024.3

公用地活用を考える第3回ワークショップを開催しました！

長池駅前の公用地の活用方法等を検討する第3回ワークショップを令和6年2月17日（土）に開催しました。

最終回となる今回は、これまでに実施したワークショップの意見を踏まえ、魅力的な広場となるよう、グループごとにコンセプトを考えました。

また、魅力的な広場ができればやりたいことについて、参加者の皆さんからそれぞれ宣言してもらいました。



第3回の概要

■日時:令和6年2月17日(土)14~16時

■場所:長池公会堂

■プログラム

○はじめに(市よりあいさつ、前回のふりかえり)

○今日のワークショップの流れ説明

○グループワーク[その1]

～魅力的な広場のコンセプトを考えよう～

・意見交換、グループ発表

○グループワーク[その2]

～魅力的な広場にしていくために自分(たち)が何をできるか考えよう～

・広場でやりたいこと宣言カード記入、

参加者全員発表

○おわりに(今後の公用地活用の予定等について)



駅前の公用地の活用について
考えていきます



[その1]では広場のコンセプトについて意見交換し、[その2]では自分ができていることをそれぞれ考えていただきました



ワークショップの内容

【その1】魅力的な広場のコンセプトを考えよう

魅力的な場所として、広場をみんなに使い続けてもらうためには、ここがどのような広場で、どのような使い方ができるのかを、誰に対してもわかりやすく伝え、共感を得ることのできるコンセプトが重要となります。

今回は、これまでのワークショップでまとめた「広場で大切にしたいポイント」をもとに、グループごとに広場のコンセプトを考えました。



グループAのコンセプト

行って！

そだてて！

知って！長池

コンセプトに込めた想い

- ・そこに行ってみることで「何か」が見つかる場所、「まずはいっぺん行ってみようや」と、とにかくここに来てもらおう、その来てもらうためにはどうしたらいいか。周りの人、いろんな人の意見を聞いて何かを作っていく、育てていく、地域でいろんなことを育てていく、昔の宿場町などの長池の良さを見つけ、知ってもらえるようにしていきたい。



広場で大切にしたいポイント

■広場の位置づけ

- ・人が集う目的をつくる
- ・バラエティにとんだ場で固定しない
- ・長くいてもらうためにバランスよく多目的に
- ・いいまちだねという雰囲気を感じられる
- ・地域の人が自由に使える場所
- ・地元の産品、文化を楽しめる
- ・普段もイベントを楽しめる
- ・あまり広範囲ではないなかでの拠点
- ・梅、お茶畑…めぐる
- ・歩こう会
- ・ここから長池散策ツアー

■広場の使われ方で重視したいこと

○ヒト

- ・若い人たち：子どもや親、家族連れ
- ・お年寄りの方々、住んでいる人
- ・イベントについてこれない人、関心のない人
- ・学校の違う友達
- ・学生さん

○モノ

- ・芝（人工芝でもよい）
- ・屋根のある場所
- ・机とイス、ベンチ：長くつなげられたり、動かせたりするとよい
- ・室内がよいが…風よけになるものもほしい
- ・中が使えるコンテナ設置を考えてほしい
- ・情報板
- ・万博の木のリングを椅子にできないか？ など

○コト

- ・ランチ会
- ・即売所（特産物）
- ・季節ごと、年4回、第○週など定期的に開催
- ・おこしやしてを引き継ぐ（3、6月）
- ・勉強、コミュニケーション
- ・話す、お茶会、水出し碾茶ふるまい
- ・ラジオ体操
- ・避難訓練、炊き出し食べる など





グループBのコンセプト



なじみの広場（顔なじみ、風景になじむ）

“寄っていく”場所、おきがるに

コンセプトに込めた想い

- ・生活の一部になる広場、なじみのある広場を目指せたらいいんじゃないかという話になった。
- ・発表会だけでなく、発表会に向けた練習場所として、例えば太極拳やフラダンスをしているところを見かけたりすることで、興味がある人が教室に入るのは大変だけど、こういう場なら参加したい、寄ってみたいということで気軽に行ける場所というのをコンセプトにしたい。



広場で大切にしたいポイント

■広場の位置づけ

- 来てほしいターゲット
 - ・子育て世帯・ファミリー層
 - ・常に人が集まっている、利用している状況が、アルプラザの帰りなど前を通る人の目に入る
- 周辺との連携、拡がりの仕掛けになるように
 - ・周辺のお店利用にもつながる仕組み・クーポン
 - ・地域が盛り上がるように特産品の紹介、PR

■広場の使われ方で重視したいこと

○災害時に落ち着いて集まれる

- ・ベンチ→炊き出しに使える
- ・伝言板→地域情報など昔っぽい感じでチョークで記入
- ・ラジオ放送：時間放送、音楽イベント、商店街CM、災害放送 など

○地域の特産品を紹介・PR→地域の産業が盛り上がるように

- ・しょうぶ、カラー、イチジク、特産品の店観光
- ・長池の歴史を知る（楽しく）催しを開く
- ・長池地域の特産品を紹介し、その活用をみんなで考える会を開く など

○地域のイベント・発表の場（音楽やダンスなど）

- ・運動公園とのすみ分け→運動公園：大々的なイベントを頻繁に開催
- ・ダンス発表：今は駅前で→公用地で出来れば…
- ・音楽ダンス等の発表会を開く（太陽のもとで） など

○地域の交流、情報交換、発信ができる

- ・電車の待ち時間にお茶や軽く食事ができれば
- ・交流：自治会、防災防犯、高齢層、子ども会、ワークショップ、環境、福祉セミナー
- ・子どもたちからお年寄り、皆が交流できる場 など

グループCのコンセプト

みんなでつくろう みんなで育つ広場

オール・（マルチ）・フリー広場 〈AMF 広場〉

ゴリゴリ集まろう広場

コンセプトに込めた想い

- ・全世代が、多機能で、自由に使えるというのが広場の柱。（オール・マルチ・フリー）
- ・地域の特性を生かすために、五里五里の里なので、「ゴリゴリ集まろう広場」というのも面白い。そういった広場をみんなで作ろう、みんなで育つ広場という意識を大事にしたい。



広場で大切にしたいポイント

■広場の使われ方で重視したいこと

○情報の提供・発信

- ・長池の中心として表現できる広場
- ・地域の情報発信の場所とする
- ・地元から離れている方が地元に戻った時に集える場所、墓参りに帰ったとき地域の人と話したい
- ・若い人や外国人が、地域のことを教えてもらえる（地域が伝わる！）
- ・有線放送、コミュニティFM（行政の支援も）
- ・宿場町として人を集められるか

○イベント（ex：楽市楽座）がしやすい

- ・市内の福祉事業所で作っている製品を売るマーケット
- ・商品が一点からでも出店できるフリーマーケット
- ・休日はマルシェ的なイベント（整地、芝生広場）

○楽しく人が集まる場所を目的とする（日常）

- ・平日はみんなが集まる場所
- ・子どもから高齢者までがここに来たらコミュニケーションが図れる場所
- ・みんなが楽しめる場に～遊んだり、おしゃべりしたり、食べたり、活動できる、本を読んだり、音楽を楽しむ
- ・日替わりテーマのカフェ
- ・花壇、コミュニティ農園なども
- ・しょうぶ園があった。水際も活かす

○運営組織

- ・ボランティア活動で組織化のことも必要
- ・「地域として支え、つくり続けていく」
- ・地元「運営委員会」のあり方も重要
- ・貸し借りの手続きを簡易に
- ・夜間の管理が心配（施錠の在り方）



〔その2〕魅力的な広場にしていくなために自分（たち）が何をできるか考えよう

広場ができたなら「自分でやりたいこと」、「仲間でやりたいこと」、「地域でやりたいこと」を参加者の皆さんそれぞれに考えて、宣言してもらいました。

広場ができたなら“やりたいこと”

- ・体操やヨガなど、身体を使って気軽に参加できることをやりたい！
- ・子ども達と一緒に劇をやるなど、みんなで作る発表会
- ・趣味や特技を持った仲間、芸人集合、わいわい仲間集まれ！
- ・会社の紹介をしたい！（青空相談会）
- ・野菜を売る青空市場や菊の展覧会に来てもらいたい
- ・フォトロゲイニングで地域の名所を探してみたい
- ・地域の皆さんとプランターなどでの花づくりなどできたら
- ・季節ごとに地域でイベントを行いたい
- ・緑台で囲碁や地域で映画観賞会
- ・障がい者や高齢者、色んな人が楽しめる場所に！
- ・広場でギターの実習をしたい！
- ・誰でもカフェ（少年、中年、老年と世代ごとに集まれる）



次年度にむけて 【城陽市 都市整備部 立木次長】

計3回にわたる長池駅前公用地活用検討ワークショップにご参加いただき、ありがとうございました。

参加者の皆さんからは、公用地活用のアイデアをたくさん出していただきました。各グループで活発な意見交換が交わされ、大変有意義なワークショップとなりました。

来年度からの取組としては、今回のワークショップで出た各グループの意見をもとに、引き続き、意見交換を行い、まずは皆さんと出来ることを企画して、実際に公用地を使っていきたいと考えております。

実際に使ってみることで、使い勝手や地域の反応を確認しながら必要な条件や施設は何かを検討していきたいと考えております。

次年度以降も公用地の活用に向けた取組が進んでいきます。今回の参加者や地域の方々には、ぜひ関わってもらいたいと考えております。今後の取組は、随時案内していきますのでよろしくお願いいたします。



発行

城陽市 都市整備部 都市政策課 駅周辺整備係
TEL:0774-56-4070 Mail:toshiseisaku@city.joyo.lg.jp

市のホームページもご覧ください！
(QRコードからアクセスいただけます)

